

## 30109土地整理土木工事業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	14 ～ 15	掘削溝内で仕切り弁蓋の設置作業中、仕切り弁蓋の上部が外れて、石と仕切り弁蓋上部に左手中指を挟み骨折した。	69	4	521	1 ～ 9
2	2020	1	8 ～ 9	下請け工事現場で、トラック荷台からロッド（重さ300kg）をクレーンで吊り上げて降ろす際に、トラック側面のアオリが開いていたため、もう一つのロッドが転がり落ち、右足を骨折した。	26	4	611	10 ～ 29
3	2020	1	9 ～ 10	法面整備工事現場で除去対象樹木の伐採作業中、木に繋いだロープをパワーシャベルで引っ張りつつチェーンソーで切り込みを入れ、木が割れた部分を更にチェーンソーで切っていた。そのとき、パワーシャベル側がロープを緩めたため、木が戻ってしまい、戻った木と元の割れた木の間で右手が挟まれ、右手挫減創、右手挫創開放骨折を負った。	67	7	712	10 ～ 29
4	2020	2	11 ～ 12	工事現場近くの道路上で、2tダンプの荷台に積んできたミニバックホウの法面用バケットを降ろすため、バックホウのアームを積み荷に近付けた。手元作業員が到着する前、自分でワイヤーをフックに掛ける作業を試み、荷台に上がろうとしたところ、ダンプ左側のアオリが開いて転落した。その際、道路の側溝にはまる形で落下して左足を強打し、更に左腕をつき、左手首と左足踵を骨折した。	58	1	221	1 ～ 9
5	2020	2	11 ～ 12	左膝内側半月板損傷を負った。	41	19	921	1 ～ 9

6	2020	2	15 ～ 16	緑樹管理作業で、剪定した枝などをパッカー車に入れやすくするため、チェーンソーを使用して細断化している際、左手薬指が刃に当たり、左薬指神経動脈損傷の疑いを負った。	72	8	136	～ 29
7	2020	2	15 ～ 16	造成工事現場で、斫り作業により擁壁を取り壊していた際、ブレーカーの衝撃で刃先が跳ねて右足に落ち、小指を骨折した。	56	4	149	1 ～ 9
8	2020	3	14 ～ 15	資材置き場で片付作業中、脚立4段目から体勢を崩して頭から転落し、頸部骨折した。	77	1	371	10 ～ 29
9	2020	3	15 ～ 16	土側溝にU字溝を入れる作業と左右の埋戻し作業が終わり、U字溝内の掃除等の作業中に、畦畔の上の石（25cm程度）が何らかの弾みで転がり落ちて、側溝の縁に置いていた手の中指がその石に挟まれて、左手中指第1関節の辺りを切断した。	62	4	711	10 ～ 29
10	2020	3	16 ～ 17	現場敷地内で基礎を敷設するため、アメリカンスコップで掘削していた際、歩道部と通行帯を仕切るオレンジネットの仕切り板に右手甲を強打し、薬指と小指のつけ根に裂傷を負った。	62	3	419	10 ～ 29
11	2020	3	11 ～ 12	下水道の管路掘削作業で、土留設置作業中、土留未設置部に被災者が進入した際、地山が高さ1.5m巾0.4m長さ2mにわたって崩壊し、崩壊土と水道管の間に挟まれ、右大腰椎横突起を折った。	70	5	711	1 ～ 9
12	2020	4	15 ～ 16	工場現場内の砂利が敷かれた宅地盤で、下水道工事の準備で簡易土留のシーティングの切梁をプレート（20m×1.5m）に取り付け作業中に、プレートが転倒し、逃げ切れずに左足を直撃して、左足首を骨折した。	64	5	412	1 ～ 9
13	2020	4	11 ～ 12	工務店駐車場で、土場へ木材を一輪車で運搬中、坂道のため、強く足を踏み込んだ際、右足ふくらはぎに肉離れを負った。	66	19	921	10 ～ 29
			10	事務所敷地内で、剪定枝の片付け中、バックホー重機に乗りキャタピ				10

14	2020	4	～ 11	ラの下に丸太（直径15cm）が入り、重機が不安定となり飛び降りた際、左足を骨折した。	54	1	142	～ 29
15	2020	4	13 ～ 14	工事で、4tユニック車からコンクリートL型打壁（1t）を荷台から降ろす作業中、L型打壁が風で揺れバランスを崩し、リモコンレバーが指に触れ、L型打壁が荷台に落下した。その際、車両ドアとの間に右膝が挟まれ、裂傷を負った。	67	4	212	10 ～ 29
16	2020	5	16 ～ 17	会社の資材置場で、雑木に登って枝を切っていたところ、手を滑らせて落下し、左脛を骨折した。	62	1	712	1 ～ 9
17	2020	5	11 ～ 12	顧客先宅で、L型擁壁の据付作業中、足下の地盤が軟弱だったため、傾いて重機ごと転倒した際、頭蓋骨陥没を負った。	71	2	142	1 ～ 9
18	2020	6	10 ～ 11	土場で剪定枝をトラックの荷台に積み込み中、荷台に荷崩れ防止のロープを掛けるため脚立に上がって作業をしていた際、バランスを崩して脚立から落ちて、左足関節捻挫、左肘・右肘・頭部に打撲を負った。	24	1	371	10 ～ 29
19	2020	6	10 ～ 11	自社の資材センターで資材を加工中、台鋸で資材を裁断中に右人差し指を鋸で切り、指の先端に裂傷を負い、歯に触れた衝撃で、右手指を資材にぶつけた。	71	8	131	10 ～ 29
20	2020	6	9 ～ 10	資材置き場で片付け作業を行っていたとき、ユニックでロッド移動中に1mのロッドが足の上に転がり、左足の親指を骨折した。	42	4	372	10 ～ 29
21	2020	6	10 ～ 11	圃場整備工事現場で、バックホウのキャビン上で破損箇所の確認を行っていた際、油で足を滑らせ、高さ2.5mから転落して骨盤を折った。	70	1	142	10 ～ 29
22	2020	6	11	建設現場内で伐採・集積作業中、重機で倒木を集積していた際、動かした木が離れた位置にあった枯木に接触して倒れ、被災者の頭部と背	23	6	712	1 ～

			12	中に直撃して、胸椎を多発骨折した。				9
23	2020	6	10 ～ 11	L型擁壁の床堀をし、電動ビックハンマーで基礎コンクリートの研り作業を行っていた際、中腰から立ち上がり電動ビックハンマーを持ち上げようとしたとき、急性腰痛症を負った。	42	19	921	50 ～ 99
24	2020	7	11 ～ 12	資機材置き場で片付け作業中、4tダンプトラックにプレートコンパクターを積み込むとき、プレート底版とダンプ荷台角に右手指を挟み、右手中指の骨折および不全切断を負った。	32	7	149	30 ～ 49
25	2020	7	14 ～ 15	事務所の奥倉庫を解体中、高さ25cmから床下に下りようとしたところ左足をひねり、左足関節靭帯損傷を負った。	40	2	417	10 ～ 29
26	2020	7	13 ～ 14	敷地内工場の資材置き場で片付け作業中に、鉄製の道具を運搬していたところ、道具を落として地面との間に挟まり右手薬指を骨折した。	23	4	364	30 ～ 49
27	2020	7	14 ～ 15	3tダンプよりコンパネ（厚さ25mm）を降ろす際、道路面で受け取りをしていた被災者の左足甲に落ちて骨折した。	53	5	522	50 ～ 99
28	2020	7	16 ～ 17	両膝を曲げた状態で、土間をコテで均し作業をしていて、右に横動きをしたとき、全体重が右膝にかかりすぎて激痛が走り、右内側半月板損傷を負った。	49	19	921	10 ～ 29
29	2020	8	13 ～ 14	現場内で、積み置きコンクリート材料を作業員2人で積み替え中、手を滑らせバランスを崩して落下させ、持っていたコンクリート材料の端部と積んであるコンクリート材料の間に右示指が挟まれて切断した。	24	7	529	1 ～ 9
30	2020	8	9 ～ 10	4tユニック荷台上の鹿の写真を撮るため、脚立を使用して写真を撮り、脚立を降りるとき、バランスを崩して後側に転倒して、右足を脚立にぶつけて創傷を負った。	43	1	371	10 ～ 29
			11	資材置き場でレンチの片付け作業中、塀と塀の間（高さ150cm、距離				1

31	2020	8	12	90cm) を跨ごうとした際、足を踏み外して落下し、右前腕・左前腕・左肘に外傷を負った。	70	1	419	～	9
32	2020	8	16	排水路の敷設に伴い、施工現場内で2次製品をエンジンカッターで切断していた。切り終わる直前に製品が座屈を起こし、カッター刃が製品に挟まってキックバックを起こした。その反動でカッターが振り上がり、左肘に挫創等を負った。	42	8	169	～	29
33	2020	8	16	資材倉庫で資材を片付けようと歩いていたとき、バランスを崩して転倒し、右脇腹を地面に打って肋骨を折った。	61	2	416	～	49
34	2020	8	16	地内で、檜（幅約2.8、高さ約13m）の下部ボルトをラチェットでボルト締め作業中、ラチェットがボルトから外れた際、ラチェットが右手中指に当たり骨折した。	36	6	169	～	9
35	2020	8	11	建設工事現場で、邪魔な草木を草刈機で除去作業中、体調が悪くなり、熱中症を発症した。	61	11	715	～	29
36	2020	8	13	会社の資材置場で、残材の片付け中、古釘の刺さった板を左足で踏んでしまい、左足裏に刺創を負った。	28	9	521	～	29
37	2020	8	17	トラックから倉庫へ電動工具を片付けるため、工具を持って走ったところ、足がもつれて倒れ、右橈骨遠位端を骨折した。	44	2	417	～	9
38	2020	9	13	工事現場で、トレンチャー（暗渠堀削機）の泥吐き出し部分に溜まった泥を取り除く際、手元を回転しているカップに泥を取る道具が入り込み、跳ね返って下顎に当たり骨折した。	25	6	142	～	49
39	2020	9	14	区画整理工事の現場で、4m位の法頭に設置していた測量基準杭の撤去作業後、杭を左脇に抱えて歩いていたところ足下を滑らせて法尻に転落し、杭の角が左肋骨に当たり、骨折した。	49	1	711	～	29



49	2020	9	14 ～ 15	造成工事で、セメント袋や鉄筋等の運搬作業をし、同じ体勢での作業中に腰痛を負った。	73	19	921	1 ～ 9
50	2020	10	11 ～ 12	工事現場内の取り付け道路で、休憩中、原因不明の車両火災により火傷を負い、両下肢広範熱傷により死亡した。	41	16	231	10 ～ 29
51	2020	10	9 ～ 10	農業用排水路布設替工事で、排水路堀削後の土止めとして鋼矢板の背部に0.7?バックホウにて鉄板マットを設置していたところ、鋼矢板の片側が引っ掛かったため修正していた。その際、吊っていたフックが外れて鉄板が倒れ、右腕と右足を挟まれて骨折、脱臼した。	65	4	372	10 ～ 29
52	2020	10	13 ～ 14	個人宅で松の剪定作業中に、脚立より転落し、頭部を庭石に打って切創を負った。	75	1	371	1 ～ 9
53	2020	10	14 ～ 15	住宅地盤改良の作業中、敷いていたプラスチック敷き板の位置をずらそうと引っ張った際に、バランスを崩して後ろに転倒し、背骨を折った。	75	2	417	10 ～ 29
54	2020	10	14 ～ 15	休耕田の復旧整地のため、雑木の伐採時にチェーンソーがキックバックを起こし、頭部に接触し、額から頭部に切傷を負った。	47	8	136	10 ～ 29
55	2020	10	8 ～ 9	下水道工事で建込土留設置作業中、バックホーオペレーターと被災作業員の周囲安全確認不足により、被災作業員がバックホーのバケットに顔面を強打し、顎を骨折した。	20	3	142	10 ～ 29
56	2020	10	15 ～ 16	造成地にて、掘削箇所の転圧作業後、一段上の場所に上がるとき、段の端に足を掛けた際、その場所が崩れて転倒し、胸部を地面に打ち付け、右肋骨を折った。	48	1	711	1 ～ 9
57	2020	10	16	トラックの荷台に乗り、廃材の積み込み整理をしていたときに、廃材を跨いで奥に移動しようとした際、ガラスの小口で足首に切傷を負っ	27	8	529	1 ～

			17	た。				9
58	2020	10	11 ~ 12	軌道工事現場で線路横法面の除草作業を行っていた際、法面へ下りよ うと、掛けたはしごを下っていたところ、下から1m位の位置で足を 踏み外し、深さ約50cmの側溝へ滑り落ち、右足を骨折した。	55	1	371	1 ~ 9
59	2020	10	11 ~ 12	プラントヤード内で、セメント計量器吐出口付近にある塊を除去しよ うと、スクリューが回転中に手を入れたため巻き込まれて、右中指・ 環指および小指を切断した。	53	7	224	30 ~ 49
60	2020	11	16 ~ 17	現場内で木杭の打ち込み作業中、金デコで木杭を支えて、もう一人が 掛矢を使用していたとき、木杭の打ち込み面に手を置いたところに掛 矢が打ち込まれ、右手親指を骨折した。	21	7	364	1 ~ 9
61	2020	11	16 ~ 17	ダンプ後ろ側に粘り気のある腐葉土が付着していたため、取り除こう と入り込んだ際、ドラグショベルを操作していた作業員がそれに気付 かず作動させてしまい、旋回したドラグショベルの胴体後部とダンプ 後部に挟まれて肋骨4本を折った。	53	7	142	1 ~ 9
62	2020	11	13 ~ 14	中学校の運動場改修工事で、単管（5m、約1.3kg）1本を持って法面 を下っていたとき、落ち葉で足を滑らせて転倒し、右足を骨折した。 スロープと階段があるにもかかわらず、使用しなかったことが原因で ある。	59	1	417	1 ~ 9
63	2020	11	16 ~ 17	山林で、斜面の伐採作業中、チェーンソーで切った小枝が右膝に当た り、右膝捻挫、右脛骨近位端骨折を負った。	70	4	136	30 ~ 49
64	2020	11	10 ~ 11	集水桧の材料を降ろす際、つまずいて落下し、胸部と大腿部を骨折し た。	72	1	416	10 ~ 29
65	2020	11	12 ~ 13	資材置場でユンボに乗り込む際、足を滑らせて手をつき、右肩関節脱 臼と右肘挫創を負った。	51	2	417	10 ~ 29

66	2020	11	10 ～ 11	工事現場でバックホウにて掘削中、バケットに接触してバランスを崩し、1.8m下の河床に転落して、頸髄損傷、頸椎骨折を負った。	70	1	142	1 ～ 9
67	2020	12	13 ～ 14	側溝に碎石が入ったため、グレーチングおよび蓋を外し、落ちた碎石を掃除し、側溝の蓋を戻すとき、蓋が台形だったため、バランスを崩して落下し、蓋と蓋の間に指を挟み、左手薬指に開放骨折を負った。	29	4	529	1 ～ 9
68	2020	12	0 ～ 1	コンクリート側溝の材料小運搬と資材ヤードの片付けを行っていた。作業終了後に右手薬指から出血しているのを確認し、右環指挫創、皮膚欠損を負った。	59	8	921	1 ～ 9
69	2020	12	10 ～ 11	倉庫で、上の荷物を取るため脚立（1.8m）に上がった際、バランスを崩して転倒し、腰を強打して骨折した。	58	1	371	1 ～ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。